

クビアカツヤカミキリにご注意！

県内で特定外来生物クビアカツヤカミキリが確認されています。このカミキリはサクラ、ウメ、モモ、スモモなどのバラ科樹木の幹や枝の中を食い荒らします。木を弱らせたり、枯らしてしまうことがあるため、

お花見ができなくなったり、果樹の生産に被害がでるおそれがあります。

退治と情報提供にご協力をお願いします

【成虫】

- ・光沢のある黒色
- ・胸部(クビの部分)が赤い
- ・体長は2~4cm
- ・発生時期:6月から8月

成虫は踏む等して
退治を！



(飼育は法律で**禁止**されています)

【フラス】

- ・幼虫の排泄物(フンと木くずが混じったもの)
- ・幼虫に寄生された木から排出される
- ・形はかりんとう状



フラス(拡大図)



県内で成虫やフラスが出ている木を見つけたら、発見場所などを市町村環境担当課又は埼玉県環境科学国際センターへ連絡をお願いします。

また、クビアカツヤカミキリについてもっと知りたい場合は、環境科学国際センターのウェブサイト「クビアカツヤカミキリ情報」を御覧ください。

埼玉県 クビアカ



お問い合わせ・御連絡

埼玉県環境科学国際センター:0480-73-8370

長瀬町町民課 環境衛生担当:0494-66-3111 内線126



県内での被害の様子



樹体に生じた枯死



成虫脱出孔



成虫分散防止対策の例

防除対策 — 早期発見、早期防除が極めて重要 —

- 本虫を見つけた場合は、その場で捕殺してください。
- 被害の拡大防止には、伐採処理が最も有効です。伐採した木は放置せず、焼却処分をしてください。
- 伐採処理できない場合には、フラス排出孔から登録農薬を注入し幼虫を駆除するか、登録農薬を散布してください。併せて、成虫の分散防止のため、羽化期（6～8月）前に、幹にネット（目合4mm以下）を巻くなどの処理をしてください。

クビアカツヤカミキリに使用できる農薬

令和3年6月現在

農薬の名称 (農薬の種類)	適用作物	希釈倍率	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法
ロビンフッド ベニカカミキリムシエアゾール (フェンプロパトリンエアゾール)	果樹類(注1)	—	収穫前日まで	5回以内 (注2)	樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射
バイオリサ・カミキリ (ボーベリア プロンニアティ剤)	果樹類	—	成虫発生初期	—	地際に近い主幹の分枝部分等に架ける(1樹あたり1本)
バイオセーフ (スタイナーネマ カーボカプサエ剤)	もも・うめ	—	幼虫発生期	—	木屑排出孔を中心に薬液が滴るまで樹幹注入(散布液量2.5L)
アクタラ顆粒水溶剤 (チアトキサム水溶剤)	もも・ネクタリン	2000倍	収穫前日まで	3回以内	散布 200L～700L/10a
	おうとう		収穫7日前まで	2回以内	
	小粒核果類(注3)				
アクセルフロアブル (メタフルミゾン水和剤)	うめ	1000倍	収穫前日まで	3回以内	
スプラサイド水和剤 (DMTP水和剤)	うめ・すもも	1500倍	収穫14日前まで	2回以内	
	もも		収穫21日前まで		
テツパン液剤 (シクラニプロール液剤)	すもも・もも	2000倍	収穫前日まで	2回以内	
モスピラン顆粒水溶剤 (アセタミプリド水溶剤)	もも・小粒核果類 (注3)	2000倍	収穫前日まで	3回以内	
	おうとう			1回以内	

- (注1) いちよう(種子)、くり、ペカン、アーモンド、くるみ、食用つばき(種子)を除く。
 (注2) 農薬成分のフェンプロパトリンを含む農薬の総使用回数は樹種ごとに異なる。
 (注3) 小粒核果類とは、あんず、うめ、すもも(プラム、ブルーベリーも含む)が含まれる。

農薬使用に際しては、農薬のラベルを必ず御確認ください。

特定外来生物の 除草にご協力ください!

「オオキンケイギク」や「アレチウリ」は、日本に昔から存在する植物を駆逐して繁殖するなど、生態系に重大な影響を及ぼすおそれがある植物として、**特定外来生物**に指定されています。特定外来生物に指定されたものは、飼育、栽培、保管、運搬、販売、譲渡、輸入、野外に放つことなどが禁止されています。ご自宅の庭や畑、空き地など、管理されている敷地は雑草が繁茂しないように適正管理をお願いします。(他人の敷地には無断で侵入しないでください。)



オオキンケイギク



アレチウリ

オオキンケイギクの特徴

- ・開花期 5~7月
- ・高さ 30~70cm
- ・葉の両面に粗い毛がある
- ・葉の形はへら状
- ・黄橙色の頭状花で、直径5~7cm
- ・花びらの先端には不規則な4~5つのギザギザがある

アレチウリの特徴

- ・開花期 8~10月
- ・結実期 9月
- ・長さ 数~10数m
- ・花は白色で小さくたくさん集まる
- ・果実に鋭いとげがあり複数が集まる
- ・茎の部分から独立した葉を生やす
- ・バネのように丸まったツルがある
- ・日当たりの良い場所を好む
- ・一年生植物

処理方法

根から引き抜き、種が飛ばないように、速やかにビニール袋などに入れて密閉し(できれば枯れさせ)、燃えるごみとして処分してください。



各市町の担当窓口

- 秩父市役所 生活衛生課 ☎25-5202
- 横瀬町役場 振興課 ☎25-0114
- 皆野町役場 町民生活課 ☎62-1232

- 長瀬町役場 町民課 ☎66-3111
- 小鹿野町役場 住民生活課 ☎75-4170

